

科目	簿記	単位数	4	履修学年・クラス（講座）	1年商業科
使用教科書	高校簿記 新訂版（実教出版）				
補助教材等	最新段階式 簿記検定問題集 全商3級 改訂版				

### 1 学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
- (3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2 学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

- ・ 簿記の解き方を学ぶだけでなく、意味や役割を理解した上で簿記を学習する。
- ・ 毎日出席し、日々の学習をコツコツと積み重ねていく

### 3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	簿記に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ実務に即した知識と技術を身に付けている。	簿記をはじめとした様々な知識、技術などを活用し、取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と実務に適用することに伴う課題を見だしとともに、会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、簿記に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく課題に対応していく力を付けている。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら簿記について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、記帳、決算など適正な取引の記録と財務諸表の作成に責任をもって取り組もうとしている。
主な評価方法	・ 定期テスト	・ グループワーク ・ 発言等	・ 授業態度 ・ 提出物

#### 4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

月	単 元	時 数	学 習 内 容	評 価 規 準
4	第1編 簿記の基礎 第1章 企業の簿記 第2章 簿記の要素 第3章 取引の勘定	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簿記の意味・目的・役立ちなどを理解させ、学習の心構えを身に付ける</li> <li>・取引によって資産・負債・資本の増減から、期首と期末の財政状態に変化が生じ、その差額が純損益であることを理解する。</li> <li>・損益取引によって生じる収益総額と費用総額の差額が純損益であることを理解する。</li> <li>・簿記上の取引の意味を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簿記の基礎的な知識を身に付けているか(a)</li> <li>・企業の簿記の意義と役割を知り、簿記の学習に興味を示し、学習しようとする態度がみられているか。(c)</li> <li>・簿記の基礎概念として資産・負債・純資産・収益・費用は何かを思考し、それぞれの区分を適切に判断し、適切に表現できているか。(b)</li> <li>・勘定記入について適切に判断し、正確におこなえているか。(b)</li> </ul>
5	第4章 仕訳と転記 第5章 仕訳帳と総勘定元帳 第6章 試算表 第7章 決算	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕訳の意味を知らせ、仕訳のしかたを十分理解する。</li> <li>・仕訳帳と総勘定元帳の意味を明らかにし、それぞれの記帳法を理解する。</li> <li>・試算表と貸借平均の原理の関係について、教科書の図などを使って学ぶ。</li> <li>・決算の必要性・重要性を記帳手続きについて理解し、簿記一巡の流れを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕訳の意味を理解しているか。(a)</li> <li>・仕訳帳・総勘定元帳への記帳を適切に判断し、正確におこなえているか。(b)</li> <li>・企業の取引を帳簿に記入することに関心を示し、仕訳と転記にも自ら進んで取り組もうとしているか。(c)</li> <li>・試算表・精算表や貸借対照表と損益計算書の作成法または意味や役割を理解しており、記帳を正確に行おうとしているか。(a)(c)</li> </ul>
6	第2編 第8章 現金・預金の記帳 第9章 商品売買の記帳	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現金・当座預金・その他の預金の意味を理解させ、その記帳法を習得する。</li> <li>・小口現金の意味を理解させ、その記帳法を習得する。</li> <li>・3分法による商品売買の記帳法を理解させる。</li> <li>・仕入帳・売上帳また商品有高帳の役割を理解させ、記帳法を習得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現金・預金の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。(b)</li> <li>・現金・預金、商品売買取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。(c)</li> <li>・3分法による記帳法や仕入帳・売上帳、商品有高帳に関する知識とその記帳法を理解したか。(a)</li> </ul>
7	第10章 掛け取引の記帳 第11章 固定資産の記帳	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売掛金元帳と買掛金元帳の必要性と記帳法を理解する。</li> <li>・売掛金勘定と売掛金元帳、買掛金勘定と買掛金元帳の関連を理解する。</li> <li>・貸し倒れの意味と、その記帳処理(法)を理解する。</li> <li>・固定資産の種類とその取得、売却についての記帳法を学ぶ。</li> <li>・固定資産台帳の役割を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掛け取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けているか。(a)</li> <li>・取引の記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけているか。(b)</li> <li>・取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。(c)</li> </ul>
8				

9	第12章 決算(その1) 第3編 第13章 手形取引の記帳 第14章 その他の債権・債務の記帳	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理を含む決算手続きの学習により、複式簿記のしくみを学ぶ。</li> <li>・約束手形と為替手形の違いを理解させ、これらの手形の授受に伴う記帳法を習得する。</li> <li>・手形の裏書と割引の基本的な記帳法を学ぶ。</li> <li>・受取手形記入帳と支払手形記入帳の役割と記帳法を習得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決算の記録・計算・整理の内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(a)</li> <li>・手形に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。(b)</li> <li>・様々な取引に対して、適当な勘定科目の判断ができ、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。(c)</li> </ul>
10	第15章 販売費及び一般管理費の記帳 第16章 資本金の記帳 第17章 決算(その2)	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売費及び一般管理費の意味と記帳法、個人企業に課せられる税金について、種類と意味を理解させ、その記帳法を習得する。</li> <li>・資本金の増減に関する記帳法と引出金の意味を理解する。</li> <li>・決算(その1)の学習内容を復習し、さらに進んだ8桁精算表により決算のしくみを確実に理解させ、損益計算書と貸借対照表の作成を習得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売費及び一般管理費の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けているか。(a)</li> <li>・資本金に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけているか。(b)</li> <li>・決算整理を含んだ決算について、一定の方法に従って判断処理し、その財務諸表から諸活動を把握しようとしているか。(c)</li> </ul>
11	第4編 第18章 帳簿 第19章 仕訳伝票と3伝票制	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帳簿の種類と、帳簿組織およびそれらと分課制度との関係、帳簿組織の立案について理解する。</li> <li>・伝票のはたらきとその種類を学び、3伝票制による取引の記帳法および集計と転記について理解させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学んでいる諸帳簿の記帳法を理解しているか。(a)</li> <li>・帳簿の種類や形式について関心を高めているか。(c)</li> <li>・入金取引・出金取引・その他の取引にどの伝票を用いるかの判断を通じて、記帳の合理化を考えることができるか。(b)</li> </ul>
12	第20章 会計ソフトウェア 第5編 第21章 有価証券とその他の手形取引の記帳 第22章 決算(その3) 第6編 第23章 支店の取引	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計ソフトウェアの導入と運用方法について理解させ、データを入力し体験させ、利点を学習する。</li> <li>・売買目的有価証券の意味を理解させ、その売買に伴う記帳法を習得する。</li> <li>・決算手続きを確認し、損益計算書と貸借対照表の形式を説明し、作成法を習得する。</li> <li>・支店会計の意味を理解し、記帳法を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することによる利点を理解しているか。(a)</li> <li>・有価証券とその他の手形取引に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけているか。(b)</li> <li>・決算整理を伴う決算手続きに関心を持ち、貸借対照表と損益計算書の作成に進んで取り組み、作成した貸借対照表と損益計算書からビジネスの諸活動を理解しようとしているか。(c)</li> </ul>
2 3	第24章 本支店の財務諸表の合併	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本支店の貸借対照表と損益計算書の合併の意味と、その手続きおよび作成法について習得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本支店の合併貸借対照表と合併損益計算書について基本的な内容を理解し、作成法を身に付けているか。(a)</li> </ul>